



# 学術機関リポジトリの意義 ~信州大学の目指すもの

2007年6月8日NIIオープンハウス CSIワークショップ信州大学附属図書館 岩井雅史

#### SOAR



## 今回の話題

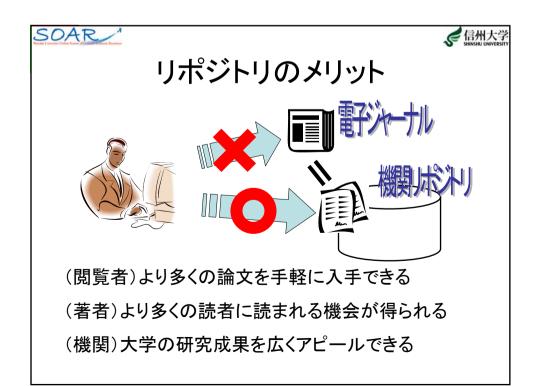
- 機関リポジトリのメリット
- 研究者総覧との連携・実装例
- 信州大学の開発コンセプトと経過

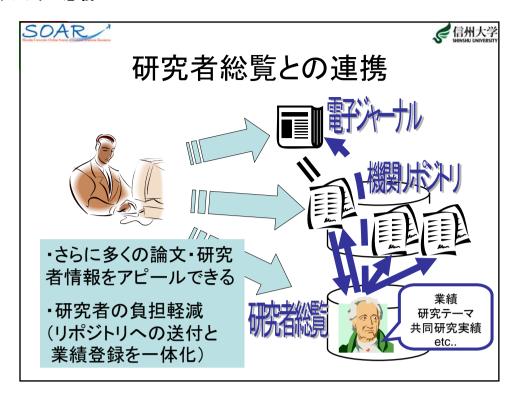




### 本学の紹介

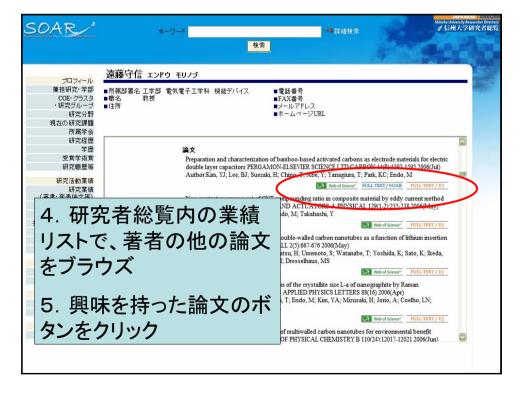
- 信州大学
  - H18年度CSI事業受託(領域1)
  - 機関リポジトリと研究者総覧との連携システムを 開発、システムの無償提供を発表
  - H18年度委託事業の優良事例に選定
- SOAR-IR(リポジトリ) https://soar-ir.shinshu-u.ac.jp/
- SOAR-RD(研究者総覧)
  http://soar-rd.shinshu-u.ac.jp/











#### SOAR



### 信大でのコンセプト

- 先進 (Advanced)
  - XML
  - リポジトリと研究者総覧との連携を柱とした、 総合的学術情報システム
  - GoogleやYahoo!などー 般的なインターネット環境 への対応
  - 認証の実装





**信州大学** 

SOAR

## 信大でのコンセプト

- Cool & Soar
  - -研究者を最大限Cool に見せる
  - -研究者や機関の視認 性を最大限高める



	プロジェクトの経過
18.6	CSI事業 領域1で採択
18.9	役員会・教育研究評議会でSOAR構想を承認
	野村理事(広報・情報担当,附属図書館長)のもと 全学WG設置(図書館が事務局)
18.10~12	5回にわたるWGでシステム設計が決定
18.11~19.3	各学部での説明会実施
19.3	拡大役員会で運用管理規程承認
	試験運用スタート
19.8(予定)	正式運用スタート無償提供開始